

報告事項カ

平成22年度問題行動（暴力行為・いじめ）等の状況について

平成22年度全国及び鳥取県公立小・中・高等学校問題行動（暴力行為・いじめ）等の状況について、別紙のとおり報告します。

平成23年8月16日

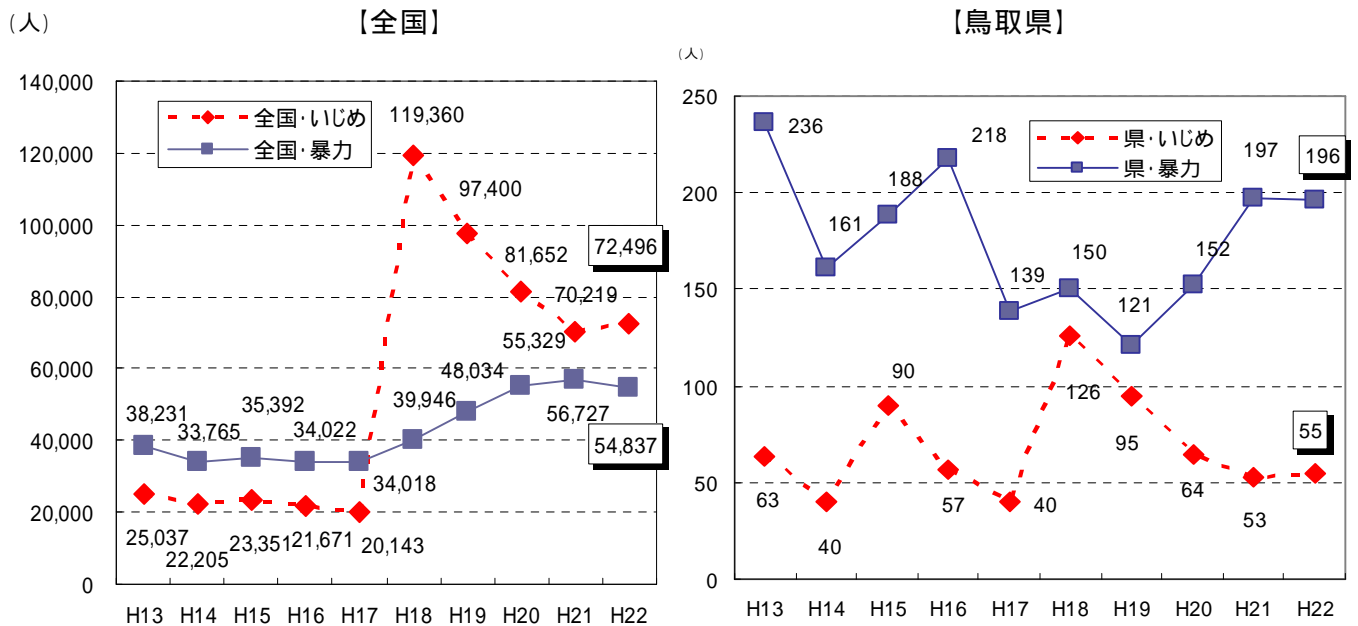
鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

平成22年度 小・中・高等学校における問題行動  
(暴力行為・いじめ)等の状況について

小中学校課  
高等学校課  
特別支援教育課

県教育委員会の集計による各種学校のデータや重点的な取組・対策などについて、8月4日に文部科学省が公表した平成22年度公表値(国の正式な統計数値)に基づき資料を作成。

1. 暴力件数・いじめ認知件数の推移



2. 暴力行為発生件数の推移

暴力行為		13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	前年比増減
鳥取県	小	4	3	4	13	4	13	6	3	13	13	0
	中	174	118	151	142	97	76	65	90	123	115	-8
	高	58	40	33	63	38	61	50	59	61	68	7
	計	236	161	188	218	139	150	121	152	197	196	-1
	発生件数/千人	3.1	2.2	2.6	3.1	2.0	2.2	1.9	2.3	3.1	3.1	0
全国 公立のみ	▶小	1,630	1,393	1,777	2,100	2,176	3,755	5,095	6,367	7,043	6,817	-226
	中	29,388	26,295	27,414	25,984	25,796	29,476	35,649	41,509	42,578	41,057	-1521
	高	7,213	6,077	6,201	5,938	6,046	6,715	7,290	7,453	7,106	6,963	-143
	計	38,231	33,765	35,392	34,022	34,018	39,946	48,034	55,329	56,727	54,837	-1890
	発生件数/千人	2.8	2.5	2.7	2.6	2.6	3.1	3.7	4.2	4.3	4.6	0.3

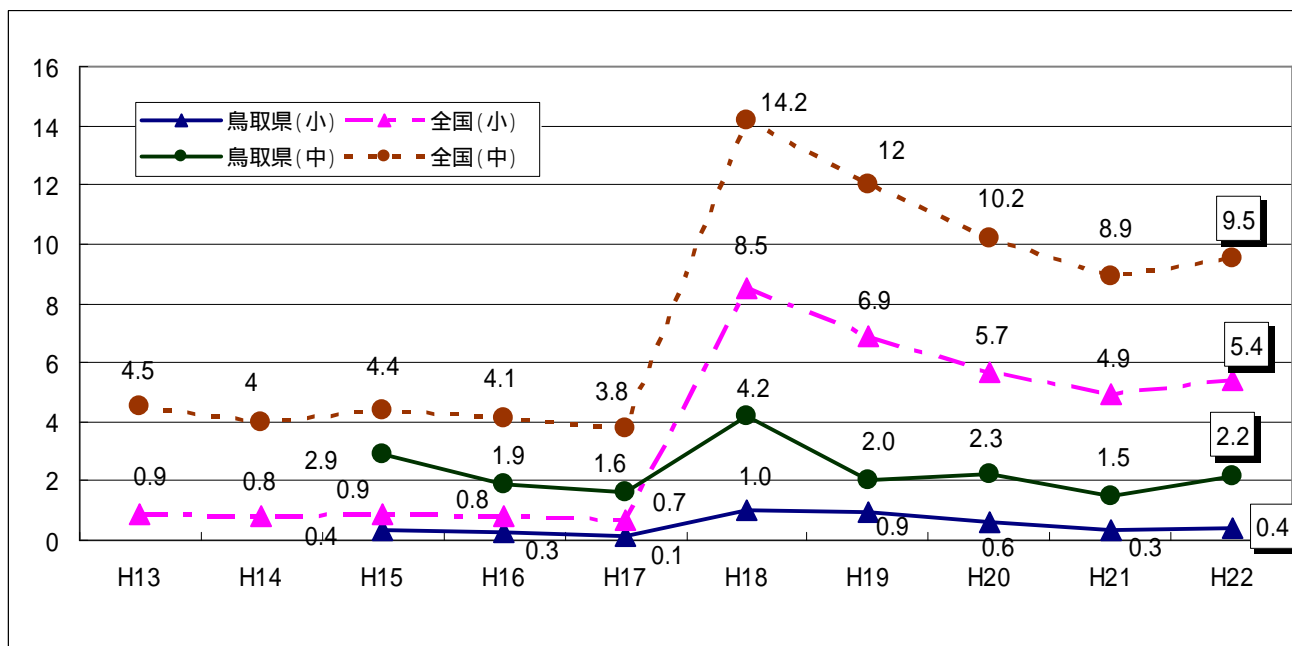
3. 暴力行為の傾向

暴力行為の発生件数(実数)は、小学校は横ばい、中学校は減少、高等学校は増加、県全体としては前年度よりわずかに減少しており、割合は全国平均を下回る

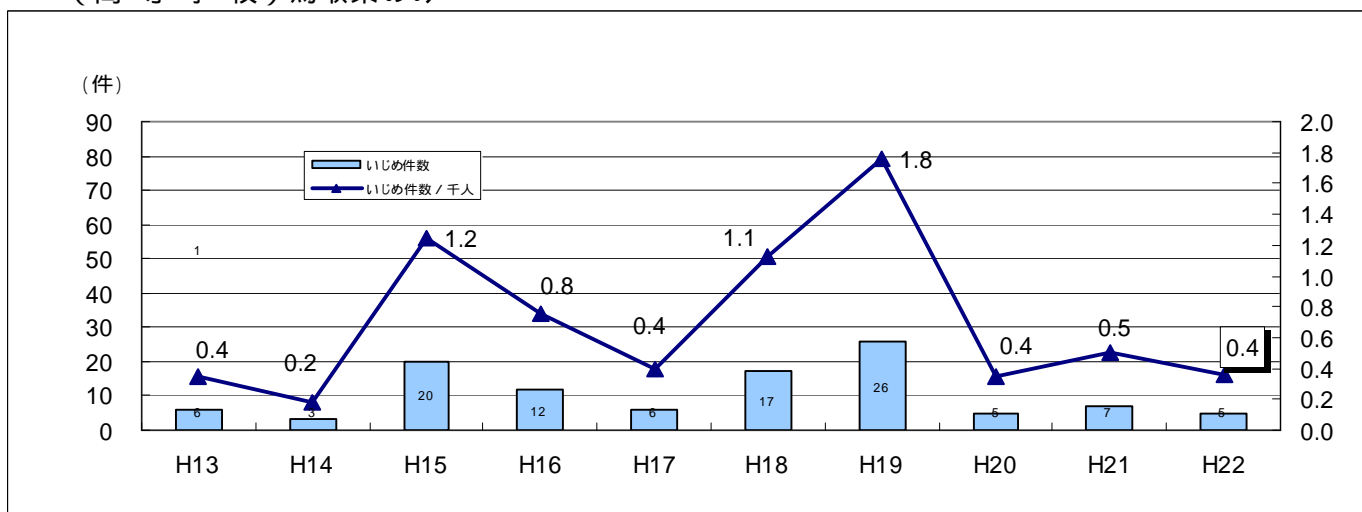
- ・ 小学校の暴力行為は、「生徒間暴力」で増加、「器物損壊」は前年度に比べ大きく減少
- ・ 中学校の暴力行為は、「生徒間暴力」「対人暴力」「器物損壊」で減少、「対教師暴力」は前年度に比べ増加

・高等学校の暴力行為は、「生徒間暴力」が増加、「対教師暴力」は減少

4. いじめ認知件数（割合）の推移（件/千人）  
（小学校、中学校）



（高等学校）鳥取県のみ



国の調査方法変更のためH17年度までは発生件数、H18年度以降は認知件数

いじめの認知件数（割合）は小学校と中学校で増加、高等学校で減少  
（詳細は別紙資料参照）

- ・小学校におけるいじめの態様は、「冷やかし・からかい」の件数が最も多く、認知件数は昨年と比べて増加
- ・中学校におけるいじめの態様は、「冷やかし・からかい」の件数が最も多く、次いで「叩かれる・蹴られる」となり、認知件数も昨年と比べて増加
- ・高等学校におけるいじめの態様は、「冷やかし・からかい」の件数が最も多いが、認知件数は昨年度より減少

## 5. 分析

ここ数年増加傾向にあった中学校における暴力行為の総数は減少したが、「対教師暴力」については、授業中の迷惑行為や服装指導等で注意を受けた際に、カッとなりすぐに暴力をふるってしまう生徒の増加や、特定の生徒が何度も暴力行為を繰り返したことが件数増の原因として考えられる。

いじめの認知件数は小学校で微増、中学校で増加、高校で微減だが、全体の割合は全国平均を大きく下回っており、学校におけるストレスをもたらす要因の軽減をねらいとするストレスマネジメントの取組や、ソーシャルスキルトレーニング、人間関係づくりを重視した学級経営や学年経営、更には学校全体の取組による効果が表れていると思われる。

## 6. 問題行動の未然防止に向けた取組について

### (1) 学校内での指導・支援

発達障がいの正しい理解と特別支援教育の視点を持った生徒指導・対応  
・LD等専門員などの指導による研修を通じた、発達障がいに関する職員間の共通理解・共通実践の推進

教育相談活動の充実

・小中連携を図りながら問題行動等への対応の在り方についての全職員の共通理解・共通実践を促進するとともに、当該児童生徒の状況に応じた指導・支援体制の構築や困り感を抱える保護者への支援

・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の外部の専門家や、教育相談担当教員等による支援を積極的に活用した教育相談活動全般の充実

豊かな人間関係、社会性の育成

・学級活動や児童会・生徒会活動等を通じた仲間づくりや、集団活動及び様々な体験的活動の推進

・「非行防止教室」や「薬物乱用防止教室」の開催、生徒指導の充実による規範意識の醸成、進んで社会のルールを守ろうとする態度の育成

・情報モラルの指導をとおしてケータイ・インターネットによるトラブルの防止や、犯罪に巻き込まれない正しい知識の保有

### (2) 家庭や地域、関係機関との連携

学校・家庭・地域の連携推進

・「高校生マナーアップさわやか運動」等の実施

関係団体との連携の強化

・青少年育成協議会等の関係団体や、地域と連携した街頭指導・夜間パトロール等による非行防止啓発活動の展開

・長期化する問題や困難な事例に対する、少年サポートセンター、児童相談所等の関係機関との連携の推進

・小・中・高等学校間での校種を超えた各学校の取組に対する意見交換会や、児童生徒交流の推進

## 問題行動(暴力行為・いじめ)等の状況に関する集計結果

小中学校課  
高等学校課  
特別支援教育課

## 1 暴力行為

## (1) 鳥取県の暴力行為の発生件数の推移

H18年度より全国の発生件数/千人は国立、私立を含む値

(件)

暴力行為	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	前年比増減	
鳥取県	小	4	3	4	13	4	13	6	3	13	13	0
	中	174	118	151	142	97	76	65	90	123	115	-8
	高	58	40	33	63	38	61	50	59	61	68	7
	計	236	161	188	218	139	150	121	152	197	196	-1
発生件数/千人	3.1	2.2	2.6	3.1	2.0	2.2	1.9	2.3	3.1	3.1	0	
全国 公立のみ	▶小	1,630	1,393	1,777	2,100	2,176	3,755	5,095	6,367	7,043	6,817	-226
	中	29,388	26,295	27,414	25,984	25,796	29,476	35,649	41,509	42,578	41,057	-1521
	高	7,213	6,077	6,201	5,938	6,046	6,715	7,290	7,453	7,106	6,963	-143
	計	38,231	33,765	35,392	34,022	34,018	39,946	48,034	55,329	56,727	54,837	-1890
発生件数/千人	2.8	2.5	2.7	2.6	2.6	3.1	3.7	4.2	4.3	4.6	0.3	

## (2) 暴力行為の区分

(件)

区分	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	前年比増減	
対教師暴力	小	2	0	0	4	0	3	0	0	2	1	-1
	中	32	21	20	29	23	15	5	13	11	26	15
	高	6	2	2	8	5	6	5	4	8	3	-5
	計	40	23	22	41	28	24	10	17	21	30	9
生徒間暴力	小	2	2	1	5	3	2	1	3	4	10	6
	中	73	53	56	77	55	45	37	41	78	65	-13
	高	23	28	17	21	22	41	28	33	26	40	14
	計	98	83	74	103	80	88	66	77	108	115	7
対人暴力	小	0	0	0	0	1	2	1	0	1	1	0
	中	13	4	8	7	4	8	4	4	13	8	-5
	高	2	1	3	6	0	1	1	0	3	3	0
	計	15	5	11	13	5	11	6	4	17	12	-5
器物損壊	小	0	1	3	4	0	6	4	0	6	1	-5
	中	56	40	67	29	15	13	19	32	21	16	-5
	高	27	9	11	28	11	13	16	22	24	22	-2
	計	83	50	81	61	26	32	39	54	51	39	-12

(注) ・対教師暴力(教師の胸ぐらをつかむ、ケガをさせるなどの行為)  
・生徒間暴力(生徒同士がけんかし一方がケガを負う、一方的に暴行を加えるなどの行為)  
・対人暴力(通りかかった他校の生徒や通行人等面識のない相手に暴行を加えたなどの行為)  
・器物損壊(修繕を要する落書き、施設の破損などの行為)

## 2 いじめ

## (1) 鳥取県のいじめの認知件数の推移

H18年度より全国の発生件数/千人は国立、私立を含む値

(件)

いじめ	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	前年比増減	
鳥取県	小	5	7	13	10	4	35	31	19	11	13	2
	中	52	30	57	35	30	74	35	38	25	35	10
	高	6	3	20	12	6	17	26	5	7	5	-2
	特	0	0	0	0	0	0	3	2	10	2	-8
	計	63	40	90	57	40	126	95	64	53	55	2
発生件数/千人	0.8	0.5	1.3	0.8	0.6	1.8	1.8	1.0	1.2	1.0	0	
全国 公立のみ	小	6,206	5,659	6,051	5,551	5,087	60,380	48,526	40,545	34,494	35,603	1109
	中	16,635	14,562	15,159	13,915	12,794	49,443	42,122	35,757	31,162	31,424	262
	高	2,119	1,906	2,070	2,121	2,191	9,166	6,388	5,043	4,307	5,127	820
	特	77	78	71	84	71	371	334	307	256	342	86
	計	25,037	22,205	23,351	21,671	20,143	119,360	97,370	81,652	70,219	72,496	2277
発生件数/千人	1.8	1.6	1.7	1.6	1.5	8.7	7.1	6.0	5.1	5.6	0.5	

(注) H17年度までは発生件数、H18以降は認知件数

## (2) いじめの態様

(件)

区分	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	計
冷やかしかからかい、悪口や脅し文句等	11	23	5	2	41
仲間はずれ、集団による無視	2	4	1	0	7
軽く叩かれたり、蹴られたりする	4	12	0	0	16
ひどく叩かれたり、蹴られたりする	1	2	0	0	3
金品をたかられる	0	0	1	0	1
金品を隠されたり、盗まれたり、壊されたり、捨てられたりする	1	4	1	0	6
いやなこと恥ずかしいこと、危険なことをされたりさせられたりする	0	6	0	0	6
パソコンや携帯電話で誹謗中傷やいやなことをされる	0	2	1	0	3
その他	1	1	0	0	2
計	20	54	9	2	85

(注) 複数回答可

## (3) いじめの解消状況

(件)

	いじめが解消しているもの	一定の解消が図られたが、継続支援中	解消に向けて取組中	他校への転学、退学等	計
小	8	3	1	1	13
中	30	4	1	0	35
高	2	2	0	1	5
特	2	0	0	0	2
計	42	9	2	2	55